

勇払原野の風土を共有する

苫東環境コモンズ



～その今日的意味と期待～



↑ Hokkaido sika deer in coppice



↑ coppice excursion

↓ blessing from coppice



↓ Kashiwabara footpath with visitor



↑ coppice in autumn



↑ ↓ log & transport by pony

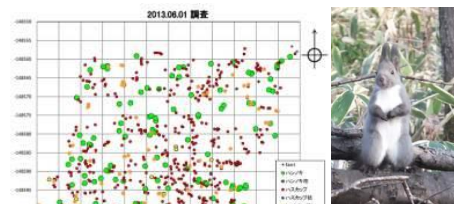


↓ firewood yard



↑ demonstration of culling

↓ HASKAP distribution mapping



↑ safe culling training



↑ Akan excursion

平成 22 年 1 月 4 日知事認証

NPO法人苫東環境コモンズ

<http://homepage3.nifty.com/hayashi-kokoro/>

苫東環境コモンズとは？

以下の内容は環境コモンズ研究会（座長：小磯修二
現北大公共政策大学院教授・4 頁参照）の議論をふまえたものです。

「苫東環境コモンズ」とは、苫東の豊かな自然を「守りながら利用させてもらう」仕組みです。苫東の一部に「環境コモンズ」という区域を想定して、NPO や市民が企業、行政とともに環境保全と利活用を進める実験的な取り組みと言えます。

ここでいう「環境コモンズ」とは、明確な私的土地所有のわくぐみの中で、かつ、所有者の許容する範囲内で、地域住民が「環境の享受（利用）」を行い、その引き替えに利用管理・情報発信の一部に協力する相互関係の仕組みをさします。つまり“土地の重層的な利用によって持続可能な環境を保全する”ことを目指します。

NPO 法人苫東環境コモンズは、この苫東の環境コモンズの中心となって、土地所有者と協議し積極的な応援を求めて、現況緑地の保全と利活用を具体的に推進する非営利法人（NPO）です。

そもそもコモンズとは、そして苫東環境コモンズの特徴は？

コモンズ commons[※] とは、「それぞれの環境資源がおかれた諸条件のもとで持続可能なかたちで利用、管理、維持するための制度・組織のあり方のこと」（経済学事典）とされています。一般には町村などの共有地そのものや共同使用の権利を指すコモンズという言葉は、近年、地域の環境や資源と共生する知恵が蓄積されたものとみなされ、持続可能な環境と資源利用のカギを握る共同管理の概念として注目されています。また、「公」と「私」の範疇に入りきらない「共」と呼ぶべき古くて新しい概念を含むとして、「コモンズの再生」という文脈で使われることも少なくありません。

このたび提言する「苫東環境コモンズ」の概念は、以上のようなコモンズの流れにありながら、一方で、苫東という地域独自の特徴を含んでおり、歴史的、制度的な背景も取り扱いも当然ながらまったく固有な側面を持っています。

具体的には、苫東の用地が公的な機関により取得されてきたことと、ハスカップに代表されるように、地域住民が自由に自然の恵みを享受してきた慣習によって特徴づけることができます。その自然が勇払原野の面影を色濃く残し、市民の憩いの環境をもっていることが再認識され、かつ、高く評価されてきたという点も特徴にあげることができます。

環境コモンズは苫東や勇払原野にどう役立つのか？

苫東の用地は約 10km 四方に相当する広大なもので、その中に北海道電力の火力発電所、石油備蓄基地、いすゞ自動車等の工業用地があり、港湾や道内各地につながる主要な道路で結ばれる一方、河川を含む広い現況の緑地があります。それらは、主として樹林地や湿原、原野ですが、すべてを目の行き届いた管理下におさめることはほとんど不可能に近い状態と言えます。

環境コモンズは、このような現況緑地の一部において、環境コモンズの趣旨に賛同した人々が自然の恵みを享受しながらゴミ捨てや山火事防止、樹林地の保育、雑草の刈り払いなど、所要の環境保全に役立つ活動ができることから始めていこう、とするものです。

それは、広い苫東の「ひと気」づくりにもつながると同時に、景観を向上させ、持続可能な地域環境と社会を形成する一歩にもなります。→→NPO の具体的事業＝4 頁参照

※ 1) 井上真ほか編『コモンズの社会学』:『自然資源の共同管理制度、及び共同管理の対象である資源そのもの』。資源の所有にはこだわらず、実質的な管理（利用を含む）が共同で行われていることをコモンズである条件とする。したがって、ある自然資源が私的所有物であっても、暗黙にあるいは契約によって地域住民によって共同管理（collective management）されているならば、その資源管理制度はコモンズの範疇に入れて議論することが可能となる。」

2) 宇沢弘文（1998）『経済に人間らしさを』かもがわブックレット 120 :「必ずしも特定された組織や形態をもつのではなく、ある特定の人々の集団が集まって、協同的な作業として、社会共通資本としての機能を十分生かせるように、その管理や運営をしていくものです。その組織を総称してコモンズといいます。」

骨格的緑地の配置パターンと利活用の可能性をもつゾーン (名称は仮称)



各ゾーンの特徴&履歴

- ①大 島 山 林 … 旧所有者の名前を冠した広葉樹林を主とした苫東の骨格的緑地。1995 年から遠浅町内会が自主的な管理を継続。苫東環境コモンズの実質的なはしり。
- ②沿道多用途地区 … 国道 234 号に面した苫東最北部の一帯。森づくりの植栽試験地（北海道開発局委託）、手作り市民利用公園「旧憩いの広場」とコスモス畑、景観に配慮したエントランスなど、苫東のメモリアルなゾーンで最もアクセスしやすい地区。
- ③柏原フットパス … 湿原と採草地・雑木林のゾーン。道内トップクラスのフットパス適地。

- ④コナラの雑木林 … 1990 年から苫東が取り組んだ雑木林保育地。1994 年市民参加、1997 年から 3 シーズンは育林コンペ、その前後からは苫東環境コモنزの前身の NPO が継続的に保育し、雑木林のフットパスを完成。うつに悩む方などにも好評。苫東環境コモنزの 2 番目の原型に相当。
- ⑤風倒自然復元地 … 1981 年の 15 号台風の風倒跡地約 40ha を造林せずに天然復旧。「植えない森づくり」の見本。自然復元のエコミュージアム。
- ⑥つたもり山林 & 山辺夕日の里 … 苫東の緑地の拠点。林道はフットパスになる。全国植樹祭の行われたエリアの境界の山辺は樽前山に沈む夕日を見る適地。跡地では現在、多様な NPO や市民、団体が中心となって新しい森との関わりを模索する「和みの森」プロジェクトが始まっている。
- ⑦ハスカップ サンクチュアリ … 湿原の自生地が乾燥化して生まれた群生地。地質年代レベルのハスカップに想いをいたす貴重な一帯。
- ⑧緩衝緑地造成地 … 備蓄交付金による北海道の造成地。約 20 年を経て順調に生育。
- ⑨浜厚真自然砂浜 … 気宇壮大な自然海岸。地域の有志による浜祭りは 20 年の歴史。サーフィンのメッカ。
- ⑩勇 弘 原生花園 … 海浜植物の原生花園苫小牧版。

例：フットパスコースの位置とルート



●環境コモنز研究会

(一財) 北海道開発協会が設置した研究会。小磯修二・釧路公立大学長(当時)が座長を務め、故・辻井達一・元北大教授など学識経験者と有識者が委員となり広い視点から環境コモنزの具体的展開を検討した。

●NPO 法人苫東環境コモنزが目指す事業

①環境保全事業

勇 弘 原野のコナラを中心とした雑木林(里山)およびハスカップ等湿原環境の持続的保全

②現況緑地利活用事業

身近な森づくりの支援と実践、フットパスのルート設定とネットワーク、利活用策の発掘と実践・広報

③調査研究事業

コナラ等二次林の持続的保全、ヒグマの移動経路等に関する情報収集

●お問い合わせ・連絡先

NPO 法人苫東環境コモنز 事務局長 草薙 e-mail kt-884-556@nifty.com 携帯 090-6999-2765